

わなんれん

平成13年6月7日 第26号
和歌山県難病団体連絡協議会
【事務局】649-6612
那賀郡那賀町北涌372-3
森田 良恒
TEL・fax 0736-(75)-4862

J P C (日本患者家族団体協議会) 第16回総会開催

平成13年6月3日 (日)
東京晴海 ホテル浦島

▼伊藤たてお代表幹事のメッセージ代読

「頸椎椎間板ヘルニアで出席できなくなりお詫びします。ハンセン病の方々が切り拓いた完全勝利は私たちに大きな勇気を与えてくれました。私たちが取り組んできた数々の活動もやがて大きな花を咲かせてくれるものと信じます。また肝炎、無年金障害者、医療災害・薬害救済制度確立、難病センター等々の問題への運動は日本の医療と福祉の歴史を変えるものとなるでしょう。

最後に J P C を今日たらしめた小林孟史さんが今総会をもって事務局長を退任され、相談役顧問として後任の指導に当たってくれることになりました。長年の激務とご尽力に感謝を申し上げます。」(要旨)



(挨拶する辻川寿之常任幹事 写真左)

▼議事

今年で結成15周年となる J P C の総括を踏まえたうえで、2000年度の活動報告・決算報告が行われ、2001年度活動方針・予算案は予定時間を延長して熱心な討論が交わされ、それぞれ承認されました。

なかでも逼迫状況にある財政の確立のため、各加盟団体に対し

- ① 1万円の分担金の増額、
- ② 新規協力会員10人の拡大、
- ③ 国会請願募金還元率を50%に引き下げ、



以上の3点を提案し承認された。

(活動報告する小林孟史氏 写真左)

(和歌山からの参加者 写真下)



▼ J P C 新役員

代表幹事	伊藤たてお	(北海道難病連)
副代表幹事	濤 米三	(大阪難病連)
〃	辻川 寿之	(全交災)
〃	森田 良恒	(和歌山県難病連)
常任幹事	山崎 洋一	(秋田県難病連)
〃	有坂 登	(長野県難病連)
〃	杉山 辰夫	(静岡県難病連)
〃	森沢 繁雄	(香川県難病連)
〃	原田 恒夫	(宮崎県難病連)
〃	青沼 三郎	(全脊柱連)
〃	未定	(全腎協)
〃	未定	(心臓病)

▼特別決議①肝炎

- ・慢性肝炎、肝硬変、肝ガン等の治療薬、治療法の開発を促進し、今ある治療薬・治療法の制限を緩和してください。

- ・肝炎患者の社会的・経済的困難を救済するため、制度の拡充を図ってください。
- ・肝ガン予防対策として、老人保健法に基づく「基本健康審査」にB型、C型肝炎ウイルス検査を実施してください。

▼特別決議②ハンセン病

- ・ハンセン病裁判の勝利判決をともに共有し、今後も人権の尊重が何よりも大切にされる社会を目指し、ハンセン病患者として苦しめられてきたすべての患者の要求を全面的に支援し、要求を完全に勝ち取るまでともに闘います。

▼総会宣言

- ・難病対策予算の24億円もの削減、難病認定コンピューター導入による患者選別、医療保険制度や年金・福祉の改悪は難病患者の生命の尊厳さえ危うくなっています。難病患者激励日本一周マラソンや患者会のリーダー育成のための研修セミナーなどの活動を活かし、さまざまな団体と手を取り合い、国民を巻き込んだ「人間の尊厳、生命の尊厳」を守る運動を進めていきましょう。

「総合的難病対策の早期確立を要望する」国会請願活動

平成13年6月4日議員会館
和歌山県難病団体連絡協議会

日本患者・家族団体協議会（JPC）に加盟する全国の難病、慢性疾患、薬害、労災、職業病などの患者・家族が全国各地からさまざまな病気に苦しむ患者の切実な要望をもって国会議員への要請活動を実施しました。

難病をもつ仲間がそれぞれの体調を整えながら、今年は約85万人の署名を持ち寄って上京し、要請行動を行いました。

昨年の請願は①難病医療費の全額公費負担、②医療災害・薬害被害の国家補償の問題がネックとなって、6年連続の衆・参両院採択は実現しませんでした。私たちの願いを実現するためにも昨年と同様の請願項目で提出しました。



＜和歌山県難病団体連絡協議会参加者 写真下＞

森田良恒会長、
八田真佐和（桃山難病連）
杉浦将浩（新東難病連）
東本喜佐子・千谷洋子
（リウマチ友の会）
武内優子（つぼみの会）
平川省子・山田茂（惣坊氏代理）
森田戸施子（事務局）
他につぼみの会親子2名
（計11名）



＜和歌山県選出国会議員の対応＞

▼二階俊博議員

- ・秘書さんが玄関先にて署名用紙を預かってくれました。

▼岸本光造議員

- ・秘書さんが集会に出席してくれました。要請行動では応接室にてお茶の接待を受け要望を聞いていただき、署名用紙を受けとってくれました。

▼西 博義議員

- ・秘書さんが対応し、応接室にてお茶の接待を受け要望を聞いていただき、署名用紙を受けとってくれました。

▼谷本龍哉議員

- ・秘書さんが玄関先にて署名用紙を預かってくれました。

▼世耕弘成議員

- ・秘書さんが玄関先にて署名用紙を受けとってくれました。

▼鶴保庸介議員

- ・秘書さんが集会に出席してくれました。要請行動では応接室にてお茶の接待を受け要望を聞いていただき、署名用紙を受けとってくれました。

＜報告集会＞

自民党の国会議員から受け取りを拒否されたという報告がいくつかの県からありました。昨年と項目内容は同様のため今回も党の方針として受け取れないということでした。

昨年、紹介議員となって院に提出していただいた公明党議員のなかにも、「今年は受け取れない」というところがあったことも報告されました。

全国から参加した約75名の皆さまには大変お疲れさまでした。